

さらなる発展をめざして

合併10周年記念式典

祝 大山町合併10周年記念式典



合併10周年記念式典が、10月10日に名和小学校校体育館で挙行され、関係者や来賓など約300人が出席しました。

オープニングは、名和中学校生徒徒による「名和中轟太鼓」で幕開け。力強い太鼓の響きと威勢のよいかけ声で来場者を魅了しました。

また、式典に合わせて制作したDVD「大山町10年の歩み」も冒頭で上映されました。映像は合併10年を振り返るとともに、そこで暮らす人々が新たな一歩を踏み出そうとする、未来へ向けた内容です。

（この映像は10月13日から31日まで、大山チャンネルの番組内で放映）。

式典で森田増範町長は、「情報通信基盤事業、小学校校舎建設、道の駅の整備、拠点保育所整備など、新町誕生からの10年間は持続的発展の基礎づくりに取り組んできた。今後は『しごとづくり』『ひとづくり』『くらしづくり』の3本の基本目標を掲げ推進



▲町長式辞

するとともに、大山の恵みを活かし、本町の輝かしい未来づくりに積極果敢に挑戦していく」と力強く述べました。

この後、町政発展に貢献した個人・団体に対し各種表彰が行われたほか、大山を描いた作品「辛夷咲く」を寄贈された日本画家・室井澄さんに感謝状が贈られました。

また、10周年を記念して制定した「町の花・木」「町民歌」「町民憲章」も式典で披露されました。

合併10周年を記念して「響かせよう トットリズム」地方創生で伸びゆく大山町への期待」と題して、平井伸治鳥取県知事の記念講演が行われ、10年の節目を盛大に祝いました。



▲室井さんに感謝状の贈呈